

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	東京都大田福祉工場	事業所番号	1311101735
住 所	東京都大田区大森西2-22-26	管理者名	湯浅克己
電話番号	03-3762-7611	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>	<活動の様子>
<p>① A 型従業員を含む全従業員が参加する「総括会議」</p> <ul style="list-style-type: none">・事業所で年2回（2025.5.17、2025.11.15）実施・人権やリスクマネジメント、個人情報保護。虐待防止法、ピアサポート研修での伝達研修 <p>② 障害者従業員の研修機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none">・「障害者ピアサポート研修～ファシリテーター養成研修」1名（福祉保健財団）・「精神障害ピアサポート～仲間とささえあうには」1名（大田区）・「ピアサポート研修・基礎」1名（福祉保健財団）・「A I と楽しく働く。クリエイターのための生成A I マインドセット」1名（日本印刷技術協会）・「在宅就労セミナー 生成AIで変わる世界」1名（葛飾福祉工場es-team）	<別 紙>
<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none">・障害の有無を問わずA型を含む全従業員に同一の研修機会を研修機会を提供している。（時間・費用は事業所負担）・A型従業員と職員・健常者従業員が対等な立場で事業参加する基盤が整備できるメリットがある。	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・令和7年度はピアサポーター研修を重点に能力向上の機会提供を行った。・A型を利用するサポーターの支援力強化に繋がった。・毎年計画的にピアサポート研修の機会に参加を促しているが関心を持つA型従業員は一部にとどまっている。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

(課題のあるA型従業員に対する支援についての評価・意見)	
指示は具体的・簡潔に、理由も伝える。 特別扱いせず、全員同じルールで対応する。 業務や組み合わせを固定せず、変化をつける。 日々の記録や観察で、早期に行動変化を把握する。 個別対応を増やさず、重要事項は全体へ伝える。 変更は試行期間を設け、「まずやってみる」運用をする。 トラブル対応の基準を統一し、担当者が偏らないようにする。	
連携先企業（担当者）	田中美郷教育研究所 米倉様（当工場と利用契約をしているジョブコーチ）

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none">・（精神障がいピアサポートミニ講座）できないことや苦手なこと（疾患や障害）に着目するより、その人が持っている力や魅力に目をむける視点を大きく育てることが重要。・（ピアサポートファシリテーター養成研修）利用者に対する共感的な関りができるようになり、自分のリカバリーストーリーを共有することで同じ悩みに向き合う対等な関係ができる。・（生成AIで変わる世界）既に使ったことがある内容であり、AIの誤回答に対しては不満が残る内容、現状として質問（プロンプト）のスキルをつけることが重要。

2024年度総括・2025年度方針会議（議事）

①

日時：2025年5月17日（土）

当日は名札必須、マスク着用

1. 2024年度総括、2025年度方針会議

* 2階 作業室

- 9:00 ~ 9:05 本日の進行説明・手話通訳紹介 (f)
- 9:05 ~ 9:10 湯浅所長 あいさつ
- 9:10 ~ 9:15 新人紹介
- 9:15 ~ 9:40 ピアサポート研修 p. 25
- 9:40 ~ 10:05 身体拘束適正化研修 p. 29
- 10:05 ~ 10:30 障害理解研修
- 10:30 ~ 11:00 各課長の振り返りと課題について 湯浅所長 p. 36~
- 11:00 ~ 11:15 事業実績と資金繰り状況 p. 49
- 11:15 ~ 11:30 現状と今後の方向性（生産活動） 湯浅所長 p. 51
- 11:30 ~ 12:00 現状と今後の方向性（全体） 湯浅所長 p. 54
- 12:00 ~ 12:50 昼休み休憩
- 12:50 ~ 14:00 NDL蔵書デジタル化事業について 湯浅所長 p. 52
(映像視聴後 現地見学)
- 14:00 ~ 14:05 総括会議 まとめのあいさつ

(全員で) 椅子片付け・原状復帰

2. 職場会 (各管理監督職の指揮)

- 14:10 ~ 15:00 職場会 又は 部署間連携会議 (議事録提出: 必)
手話通訳: 製本 (3F 多目的室)、デジタル事業係 (デジタル棟)

15時00分で終了 (定時扱い)

2025年度上期総括・下期方針会議（議事）

①

日時：2025年11月15日（土）

当日は 筆記用具持参、名札・マスク着用

2025年度上期総括・下期方針会議（会場：2階 作業室）

- | | | | |
|----------------------|---|-------|----------|
| 9:00 ~ 9:05 | 本日の進行説明・手話通訳紹介 | 司会・進行 | 次長 |
| 9:05 ~ 9:10 | 湯浅所長あいさつ
新人紹介 | | |
| 9:10 ~ 9:35 | 障害者虐待防止研修
(チェックリストは後日配布予定) | | |
| 9:35 ~ 10:00 | Pマーク研修（講義、テスト、答え合わせ） | | |
| 10:00 ~ 10:05 | ストレスチェックについて | | 湯浅所長 |
| 10:05 ~ 10:30 | 事業継続計画（BCP）について
(感染症対策実技訓練・休日災害時の緊急時連絡訓練) | | 防災・防疫委員会 |
| <u>10:30 ~ 10:40</u> | <u>10分間休憩</u> | | |
| 10:40 ~ 12:00 | 各係報告（各係5分）
制作係、生産加工係、印刷係、業務連携係、営業係、デジタル事業係、人事総務係・財務企画係、厚生サポート係、就労支援係・相談支援係・顧客サービス係 | | |
| <u>12:00 ~ 13:00</u> | <u>昼休み休憩（お弁当配布）</u> | | |
| 13:00 ~ 13:15 | 海外研修報告 | | |
| 13:15 ~ 13:25 | 事業実績と資金繰り状況 | | |
| 13:25 ~ 13:35 | 現状と今後の方向性（生産活動） | | |
| 13:35 ~ 13:55 | 今後の方向性（全体） | | 湯浅所長 |
| 13:55 ~ 14:00 | 従業員過半数代表者選出
・議場閉鎖（選挙人員数確認）
・議長、議事署名人選出
・従業員代表者の立候補と選出 | | |
| 14:00 ~ 14:05 | 永年勤続・奨励賞・所長賞表彰 | | |
| 14:05 ~
14:15 | 総括会議 まとめのあいさつ
後片付け・現状復帰 | | |
| 14:15 ~ 15:00 | 各職場の5S（整理・整頓・清掃等）など | | |

終了

研修願い

日付： 令和7年5月21日

東京都大田福祉工場

所長:湯浅 克己殿





殿

氏名： _____

②

下記の研修を受講したいのでご検討ください。

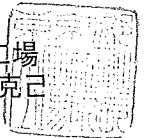
研修名	令和7年度大田区精神障がい ピアサポート ミニ講座 ~仲間と支えあうには~
日時	令和7年6月6日(金) 13時30分~17時
主催者	大田区立障がい者総合サポートセンター
講師	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科 教授 相川 章子さん
添付資料	無

上司		施設長		(回覧)					
----	---	-----	---	------	---	--	--	--	--

研修指示書

_____ 殿

東京都大田福祉工場
所長: 湯浅克己



上記研修につきましては、検討の結果次のようになりました。

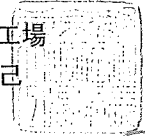
扱い	①・業務	2・業務外	3・その他
受講料	①・全額事業所負担(送料)	2・半額事業所負担	3・自己負担
交通費	①・事業所負担	2・自己負担	
その他	大田工場のB型に入所して、現在支援型A型として働く市原さんは、大田工場に無くてはならない存在です。大田工場において、ピアサポーターと専門職との協働について学ぶ上司の意見 きっかけにしてください。		

研修命令書

日付 : 2025年 7月 28日

氏名 : _____ 殿

東京都大田福祉工場
所長: 湯浅 克己



下記の研修を受講してください。

②

研修名	令和7年度東京都ピアサポート研修
日程	講義: 令和7年9月4日・8日(基礎研修)11月12日・21日(専門研修) 令和8年2月5日・16日(フォローアップ研修)
場所	ビジョンセンター新宿マインズタワー12階
主催者	東京都保健福祉財団
講師	多数
添付資料	有
上司の意見 (印)	障害当事者の視点を活かした支援力向上を図るため、本研修に参加し実践的な知識と連携力を習得してほしい。

上司		施設長		(回覧)					
----	--	-----	--	------	--	--	--	--	--

研修願い



東京都大田福祉工場
所長 湯浅 克己 殿

日付： 2025年7月31日

氏名： _____

下記の研修を受講したいのでご検討ください。

・研修名	AIと楽しく働く！クリエイターのための生成AIマインドセット
・日時	8月28日(木) 13:00~15:00
・主催者	JAGAT
・講師	デザイナー株式会社ダガス代表取締役 浅野桜
・添付資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無

上司		施設長		(回覧)					
----	---	-----	---	------	--	--	--	--	--

研修指示書

殿

東京都大田福祉工場
所長 湯浅 克己



上記研修につきましては、検討の結果 次のようになりました。

・扱い	<input checked="" type="radio"/> ① 業務 2. 業務外 3. その他
・受講料	<input checked="" type="radio"/> ① 全額事業所負担 2. 半額事業所負担 3. 自己負担
・交通費	オンラインセミナーのため 1. 事業所負担 2. 自己負担
・その他	所内で受講
上司の意見	生成AIは今後様々な分野の必須ツールです。有効活用に向けて 研修よろしくお願ひします。

AI と楽しく働く！

クリエイターの為の生成 AI マインドセット



受講報告書

2025 年 11 月 2 日

この度は、受講させて頂きありがとうございます。

今回僕がこの講義の受講を希望した理由ですが、DTP の仕事（組版等）でお客様からの原稿に□で「ここに挿絵を挿入…」等とあったとします。

お客様側から画像データの支給が特に無かった場合こちらで探す事となります。が、今までだと素材サイト等で探して見合った画像を差し込むワケですが、記事の内容とドンピシャな画像がそうそうある訳もなく、もっとキーワード的な『物』のイラストだったり。絵の内容よりスペースを埋める為のモノとして『花』とか自然や植物等の意味を持たない画像で逃げたり…

[資料 1] は僕が担当した仕事ですが、(わがまちまごめ 136 号)

この時僕はネット上で集めた素材を再編集し、組み合わせたり書き足したりして、挿絵のイラスト自体に意味を持たせて校正に組み込んでいました。コレは記事の内容と挿し絵の内容により一貫性を持たせたいからです。

勿論、お客様の仕上がりに対する要望が第一でまず有ります、更に拘ればその分手間と時間は比例して掛かっていく訳ですが…

もしも AI が、指示したシチュエーションで指示した内容のイラストを描いてくれたら。

という希望？願望？期待？

『挿し絵』というモノの『素材作成』として AI 生成を使用し、質の向上やイラストの底上げと時短にも繋がると、おもしろみを感じたからでした。

が、

この講習タイトルの通り「AI と働く為のマインドセット」がテーマの講習で、どちらかというと AI を使用して仕事する際の注意点のマインドセット。

心持ち？をもう一度講習で再確認しようといった感覚が強かったです。

研修受講復命書

日付: 2025年11月22日

氏名: _____ (2)



このたびの研修受講について、次の通り報告します。

<ul style="list-style-type: none"> 研修名 石炭職労データ生成AIで変化する世界 日時 2025年11月19日 14:00~15:30 場所 オンライン (Zoom) 	<ul style="list-style-type: none"> 主催者 藤川コー 在宅職労グループ Essteam 講師 蔵 志 様 添付資料 (有) 無
---	---

1. 研修の目標と心構え (事前記入)	生成AIの現状とフロント作成を学び身がまを得ることにし、業務に転回する	
2. 研修で学んだこと (研修概要)	Geminiアプリを使った Deep Research、要約や Notebook LM を使った Webサイトや動画の要約、資料作成としては、Canvaでの出力を学んだ。 (別紙・別P2件 - 1件の利用時間 5分程度) ※ フロントアプリでも、気づきを得られる利点を感じています	
3. 研修の評価と感想	5、十分達成 4、ほぼ達成 3、どちらともいえない <u>2、やや不十分</u> 1、不十分	既に使ったことのある内容であり、AIの誤回答に 対しての対策としては不備が残る内容でした。 現状として、一般レベルのユーザーは 質問 (フロント) のスキル を身につけることが業務のスピードなどがあがる共に 業務での「質問・確認・確認と回答」がスムーズになると 考えます。フロントの悪い例、悪い例の研修を希望します
4. 今後、職務に生かせる点	AIの進歩は、いつのしか取り残されている環境になると考えます。 事業所が単独では知識、スキル共に対応が難しいと思っておりますので 藤川コー 全体で加圧として AIの活用と実践に向け、取り組んで欲しいと思っております。	

現状で生かせる点としては、他者が「知れた」と思っていることに対し、AIの回答の精度を
 「質問力をあげても」AIは負けてくることには驚かされています

直属上司コメント	AI活用に向かっていると良い流れだと感じます。業の効率化や業務の可視化はと課題的ですが、 F社で導入、運用コストや管理面を考えると現状の業務化が強いという等々場での体制づくりは 何かあるから少し懸念点もあるように感じます。業のどう、下部分もどのように効率化するかなどは AI の活用だけでなく Python 等のプログラミングの習得と RPA を活用する点に独自開発、コストが下がること にも注目し、業改善の目的をクリアに整理して今後の検討はお願いいたします。
----------	--

上司		施設長		(回覧)					
----	---	-----	---	------	--	--	--	--	--